

オーバーナイト透析のしおり (深夜長時間血液透析)

あなたの体と時間に、
もっと優しい透析を。





目次

- STEP 1 オーバーナイト透析とは**
 - ▶ 治療について知る
- STEP 2 オーバーナイト透析の**メリット****
 - ▶ 日中に行う血液透析との違い
 - ▶ 患者様の声（他院）
- STEP 3 オーバーナイト透析の**適応条件****
 - ▶ 社会的適応条件
 - ▶ 医学的適応条件
 - ▶ 自己管理について
- STEP 4 オーバーナイト透析の**流れ****
 - ▶ 導入の流れ
 - ▶ 透析日の1日の流れ
 - ▶ オーバーナイト透析に向けての訓練
 - ▶ 定期検査について
- STEP 5 オーバーナイト透析の**規則・持ち物****
 - ▶ 規則
 - ▶ ご準備いただくもの
- STEP 6 料金**
 - ▶ 個室使用料金

STEP 1

選択することで、あなたらしい生活を



→ オーバーナイト透析とは

- 夜から明け方まで夜間の睡眠時間を利用して行います。
 - 帰宅後に夕食や入浴を済ませて透析をすることができます。
 - 開始時間が遅いので仕事と両立ができます。

- 通常よりも透析時間が長いことから透析を安定して行なうことができ、十分な尿毒素の除去による血圧の安定や貧血の改善も期待できます。

- 透析後の疲労感が少なく、合併症の軽減にもつながります。



※主な合併症：貧血、高血圧、低血圧、感染症、二次性副甲状腺機能障害など

STEP 2

→ オーバーナイト透析のメリット

► 日中に行う血液透析との比較

- 造血剤を使用せずに貧血が改善されている
 - 心血管合併症の軽減
 - 尿毒素の除去量が増える
 - 透析アミロイドーシスの軽減
 - リンの除去量が増え食事制限が緩くなる
 - リン吸着剤の服用量を減らすことができる
 - 動脈硬化が進行しにくくなる
 - 皮膚の痒みの軽減
 - 体重管理が容易になり高血圧の改善も期待
 - 透析中の血圧低下の頻度が軽減
 - 栄養状態が改善
- など

► 患者様の声（他院の患者様）



透析中は寝ているので透析をしている体感時間と
いうのは30分～1時間程度にしか感じない
(上山病院) 開始時と終了時のみ血圧測定があります。



透析開始時間が遅いので残業ができる
(上山病院) 開始時間は、21：30です。



食事制限が軽い
(上山病院) 透析時間が長いことでリンの値が上がりにくくなります
注：暴飲暴食をしていいというわけではありません



透析後の疲労感が少なく体が楽になった
(上山病院) 透析が十分にできているという実感
が出てきます

STEP 2

▶ 透析導入患者の年齢別・性別の平均余命（2020年度データ）

非透析平均余命		透析導入後平均余命
50歳男性：	約30.5年	→ 約14.5年
60歳女性：	約27.8年	→ 約11.3年
70歳男性：	約14.4年	→ 約6.2年

糖尿病性腎症は透析導入原因の中でも最も予後が厳しいとされ、

5年生存率：約45%

10年生存率：約25%

15年生存率：数%

平均寿命は約5.5年と報告されることもあります。

※出典元：2021年度 血液透析患者実態調査報告書

オーバーナイト透析は、死亡率の低下＝生命予後の改善に寄与する可能性が高いとされています。

▶ HDP（血液透析の量を評価するための指標）

HDPとは、透析患者の臨床症状や生命予後との関係を評価するために、透析時間と回数を掛け合わせて算出する指標です。

計算式 $HDP = (1\text{回の透析時間}) \times (\text{週の透析回数} \times \text{週の透析回数})$

透析スタイル	透析時間	回数	HDP 値	適正透析の目安 ($HDP \geq 70$)
標準透析	4～5時間	週3回	$4 \times 3^2 = 36 \sim 45$	不足
▶ オーバーナイト透析	6～8時間	週3回	$6 \times 3^2 = 54 \sim 72$	適正に近づく / 達成可能

HDPを70以上にするためには、以下の選択肢があります。

- ① 透析時間を延ばす → オーバーナイト透析
- ② 透析回数を増やす → 在宅血液透析

STEP 3

→ オーバーナイト透析の適応条件

► 社会的適応条件

- (1) 日中仕事をされている方
- (2) オーバーナイト透析を強く希望されている方
- (3) スタッフの指示に従い安全が確保できる方
- (4) 他の患者様・スタッフに協力・譲り合いの気持ちが持てる方
- (5) 他の患者様に迷惑をかける行為を行わない方
- (6) 当院の規則を遵守できる方

► 医学的適応条件

- (1) 透析中に血圧低下等のイベントがない
- (2) 循環器疾患がない
- (3) シヤントトラブルがない
- (4) 自己管理（水分・内服薬の服用）ができる方
- (5) 認知機能に問題がない
- (6) 睡眠薬を使用していない
- (7) 睡眠時無呼吸症候群ではない
- (8) 毎月1回、外来受診（9:00～17:00）ができる方

糖尿病を合併されている患者さまへ

下記条件を満たせば、オーバーナイト透析可能と判断いたします。
※医師の判断により適応外と判断する場合もございます。

- (1) 透析中の血圧が安定している
- (2) 画像診断にて冠動脈の石灰化が確認されない
- (3) GA（グリコアルブミン）が24%未満にコントロールできている
- (4) 当院医師の診察にて、承諾が得られている

► 自己管理について

安全な透析をするため、当院では患者様へ自己管理をお願いしております。

- ・1時間の除水量が、目標体重の1%以下（60kgの方は600ml）
- ・1時間の最大除水量は、800ml以下

以上が、安全かつ快適にオーバーナイト透析を行って頂く為の適応基準です。
今後、オーバーナイト透析を行なうにあたって何らかの問題等が生じた際はその都度、変更・追加されることがありますのでご了承ください。

STEP 4

→ オーバーナイト透析の流れ

► 導入までの流れ



「オーバーナイト透析をしてみたい」と思ったら 099-257-2277 へお電話ください。

患者様の状況や体調の確認を行います

眠ってる間は「胸の違和感」や「息苦しさ」を訴えにくい状況です。安心して眠れる透析をする為に、事前に心臓の状態をチェックします。

※透析患者様は血管疾患のリスクが非常に高いため心機能評価は必須条件です。

訓練期間は 2 ~ 6 か月行います。
夜間透析にて訓練を実施します。

オーバーナイト透析を行う上での注意点や中止基準を説明させていただき、同意書をご記入いただきます。



STEP 4

► オーバーナイト透析1日の流れ

夕食・お風呂は 21:30 までに済ませてください。



21:30 ~ 22:30

透析室へは、21:30 ~ 22:30 までに入室してください。

- 入室後、体重測定を行ってください。
- 寝巻への着替え、トイレはすませておいてください。



21:45 ~ 22:45

患者様の準備ができ次第、スタッフにて穿刺を行います。

- テープ固定は、当院の方法で行います。
- 安全確保のため、サポーター・包帯などによる穿刺部の保護及び漏血センサーによる監視を行います。
- **サポーター、包帯**は患者様自身でご準備いただきます。



23:00

患者様全員の透析開始を確認後、消灯します。

- 消灯後、携帯電話の利用等、睡眠の妨げになる行為はご遠慮ください。

※原則、血圧測定は透析前後のみ実施いたします。

透析中の血圧測定をご希望の場合は、スタッフへお知らせください。
その場合は、血圧計を巻いたままで就寝いただきます。

- 就寝中の間は、スタッフにて機械チェックを行います。
- 緊急時、照明をつける場合があります。

- 照明の調整はできませんので、個人用の**照明器具・アイマスク**が必要な方はご持参ください。
- 冷暖房の設定は変更できませんため、当院が準備しております寝具類以外で**毛布等**必要な方は、ご持参ください。
- 安全管理上、警報は通常通りの設定としておりますため、機械音・足音・他患者様のイビキ等気になる方は、**耳栓**をご持参ください。



5:45 ~ 6:45

5:45 頃、起床。スタッフが、抜針・回収に参ります。

- 止血及びテープの張替えは、患者様自分で行っていただきます。
- 着替えを行っていただき、体重測定を行います。

※緊急時を除き、5:45 ~ 6:45 以外に抜針・回収は行いません。

STEP 4

► オーバーナイト透析の訓練内容

- ① 透析治療の理解（当院作成の教材で行います。）
 - ② 体重管理と食事療法の理解と実践
 - ③ 検査データ、DW※（ドライウェイト）の理解
 - ④ 体重測定の実施
 - ⑤ 体動・血流不足・静脈圧の関係の理解
 - ⑥ トイレ離脱、透析中のトラブル対応
 - ⑦ ナースコールの操作方法
 - ⑧ 緊急時（震災・火災）の対応方法
- など

※DW

体内の水分量が適正な状態にあるときの目標体重



► オーバーナイト透析の定期検査

月に一度は、日中に外来受診にきていただきます。

- ① 胸部レントゲン写真（月1回）
- ② 血液検査（月1～2回）
- ③ 心電図、ABI、エコー等（必要時）
- ④ 循環器内科受診（年1回）



STEP 5

→ オーバーナイト透析の規則

► 規則と透析中止基準

【医師及びスタッフからの指示を守ってください】

医師やスタッフからの治療に関する指導や、透析を安全に行うためのルール、医療費支払いの期限など、当院よりお願いする全ての事項について、遵守すること。

【秩序をもって他患者様と接してください】

透析室は、他患者様と共同で利用しております。
施設の備品、トイレ・シャワー室・休憩室等を利用する際は、他の患者様のご迷惑にならないようにご利用ください。
また、就寝中は大きな音など鳴らすことがないよう、騒音対策にご協力ください。

【時間を厳守してください】

あらかじめ決められた時間を遵守すること
(入室時間、消灯など)

オーバーナイト透析中止基準

- ・医師及びスタッフの指示に従わない場合
- ・自己管理が不十分と判断された場合（食事管理・体重管理）
- ・合併症等で安全な透析が困難になった場合
- ・他患者様とのトラブルがあり、当事者同士で友好に解決できない場合
- ・規則を守らず、他患者様へご迷惑をかけた場合
- ・決められた時間を厳守できず、月3回以上もしくは年12回以上間に遅れた場合
- ・医療費支払いの遅延、滞納があわせて3回以上あった場合
- ・別紙に定める「外来透析治療に関する誓約書」を遵守できなかった場合
- ・その他、オーバーナイト透析の中止が必要であると判断された場合

● 体調が悪い（37.5度以上の発熱、咳、咽頭痛、嘔吐、下痢などの症状）期間は、オーバーナイト透析から通常透析へ移行します。不調を感じた際は、速やかに透析当日の15時までにお電話ください。

その他、医師にてオーバーナイト透析が継続できないと判断した場合は、上記記載がない場合でも、中止とさせていただきます。



STEP 5

► ご準備いただくもの

- ① 穿刺部保護用のサポーターもしくは包帯
- ② 寝巻き・下着類・タオル類
- ③ 歯ブラシ・歯磨き粉・義歯入れケース等
- ④ 入浴用具
(シャンプー・リンス・ボディーソープ)
- ⑤ イヤホン
- ⑥ マスク

【必要とされた場合】

- ・ 毛布
- ・ 照明器具
- ・ アイマスク
- ・ 耳栓
- ・ 携帯電話の充電機器
- ・ 朝食

など



STEP 6

► 個室料金

個室使用料金 : 500 円 /1 回

室内設備 : 空調・鍵付きロッカー・昇降テーブル

